

神経内分泌腫瘍の診断と治療のupdate

NETによりSteive Johveso氏が永眠した2011年がまさにNET元年であり、それ以降、新たな診断分類、そして分子標的治療薬やソマトスタチンアナログ製剤などが出揃った。さらに近年では、ゲノム医療そして内用療法(PRRT)とNET診療にも新たな局面が訪れている。

今回は、NETの診断と治療のupdateと将来展望について紹介する。

国立がん研究センター 中央病院
肝胆膵内科医長

講師 **脇岡 範 先生**
(ひじおか すすむ)

平成10年3月 自治医科大学卒業
平成10年4月
～平成19年3月 地元熊本県でへき地医療に尽力
平成19年～； 熊本赤十字病院 消化器科 医員
平成21年～； 愛知県がんセンター中央病院
消化器内科 医長
平成29年10月～； 国立がん研究センター中央病院
肝胆膵内科 医長
H30年4月～； 国立がん研究センター中央病院
希少がんセンター(兼任)

資格

日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、
日本膵臓学会指導医、日本胆道学会指導医、
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法指導医、日本超音波学会指導医



日時：2019年8月20日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：高木 忠之 先生（消化器内科学講座講座）

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 2019年9月17日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
(講師)ノイルイミュン・バイオテック株式会社代表取締役社長 石崎 秀信(いしざき ひでのぶ)先生